

食育推進シンポジウム



基調講演

“弁当の日”が 学力を育てる

～ヒトは食により人となる～

6月は「食育月間」です。食は“いのち”の源!豊かな心や丈夫な体を育むために欠かせないものです。今回は、子ども自身が弁当を作る経験がもたらす様々なものを学びます。また、日本が誇る和食の基本「だし」に触れる機会を通じて、次世代へ食育を継承すること考えます。



竹下 和男 氏
教職員、小・中学校を経て、2001年に香川県・滝宮小学校でスタートした“弁当の日”の提唱者。現在で実践校は約2300校。2003年に「地域に根ざした食育コンクール」で農林水産大臣賞を受賞。2014年に第8回キッズデザイン賞、消費者担当大臣賞を受賞した。食べることの大切さを学ぶ機会として、“弁当の日”をさらにひろげるため講演・執筆活動をしている。

子どもがつくる“弁当の日”提唱者
講師 **竹下 和男 氏**

2018年 6月30日(土)

甲府市総合市民会館 芸術ホール

開 場 13:00
開 演 13:30～15:30
入場無料 (要申込)
定 員 500名



同時
開催

山梨県食生活改善推進員連絡協議会による 和食の基本“だし”の飲みくらべ体験と展示

化学調味料のだしと、鰹節や昆布からとっただしを飲みくらべてみませんか?
また、おうちのお味噌汁を持参いただければ、塩分濃度のチェックもできます!

時 間 12:30～16:30
会 場 甲府市総合市民会館 多目的ホール(芸術ホール横)



お問い合わせ、参加申込みはこちらまで

山梨県 消費生活安全課
電話 055-223-1588
FAX 055-223-1320



お車で
お越しの方は、
乗り合わせに
ご協力ください!

